



2022年4月19日

神奈川県ハンドボール協会
各位

令和3年度評議員会の結果について（ご報告）

神奈川県ハンドボール協会
会長 塩谷 和雄

冠省

令和4年3月27日に開催した神奈川県ハンドボール協会評議員会は、皆さまのご協力のもと、全ての審議事項についてご承認いただきましたことをご報告いたします。

草々

記

出席者（委任状提出者含む） 250名

[審議事項の結果]

【第1号議案】 [組織体制（案）](#) [KHAビジョン2022（案）](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

【第2号議案】 [会則改正（案）](#) [改正後・改正前比較表](#) [2022/03/27改正 KHA 会則](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

【第3号議案】 [役員一覧（案）](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

以上

KHAビジョン2022



令和4年3月27日

神奈川県ハンドボール協会

1 はじめに

デジタル化を一気に加速させたコロナ。KHA活動は制約を受け、通信や会議も非対面で行われている。運動部活動の地域移行、大会のあり方等が検討され、中体連・高体連では世代交代も進行している。第四次産業革命は中断なく行われ、社会生活は刻々と変化する。

第四次産業革命

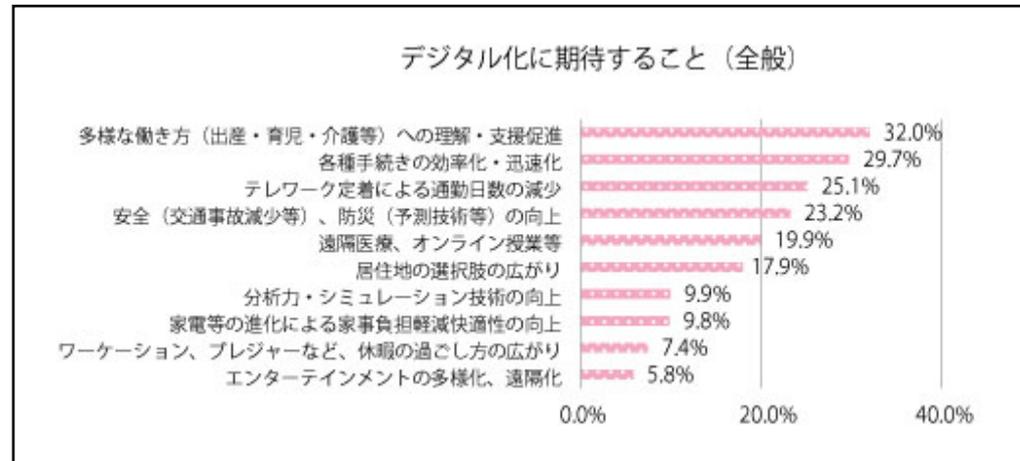
《象徴キーワード》

IoT

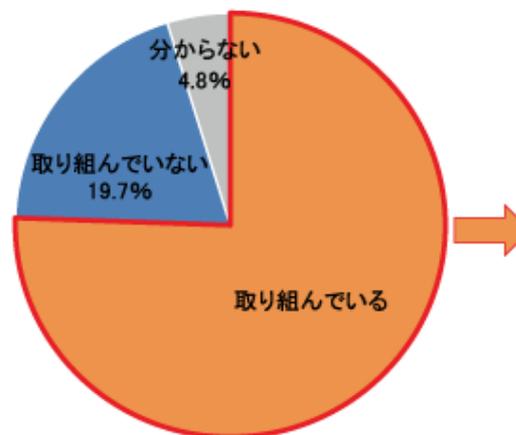
ビッグデータ、クラウド

人工知能

IoTによりすべてのものがインターネットでつながり、それを通じて収集・蓄積される、いわゆるビッグデータが人工知能により分析され、その結果とロボットや情報端末等を活用することで今まで想像だにできなかった商品やサービスが次々と世の中に登場する。



取組み状況 (n=12,000社)



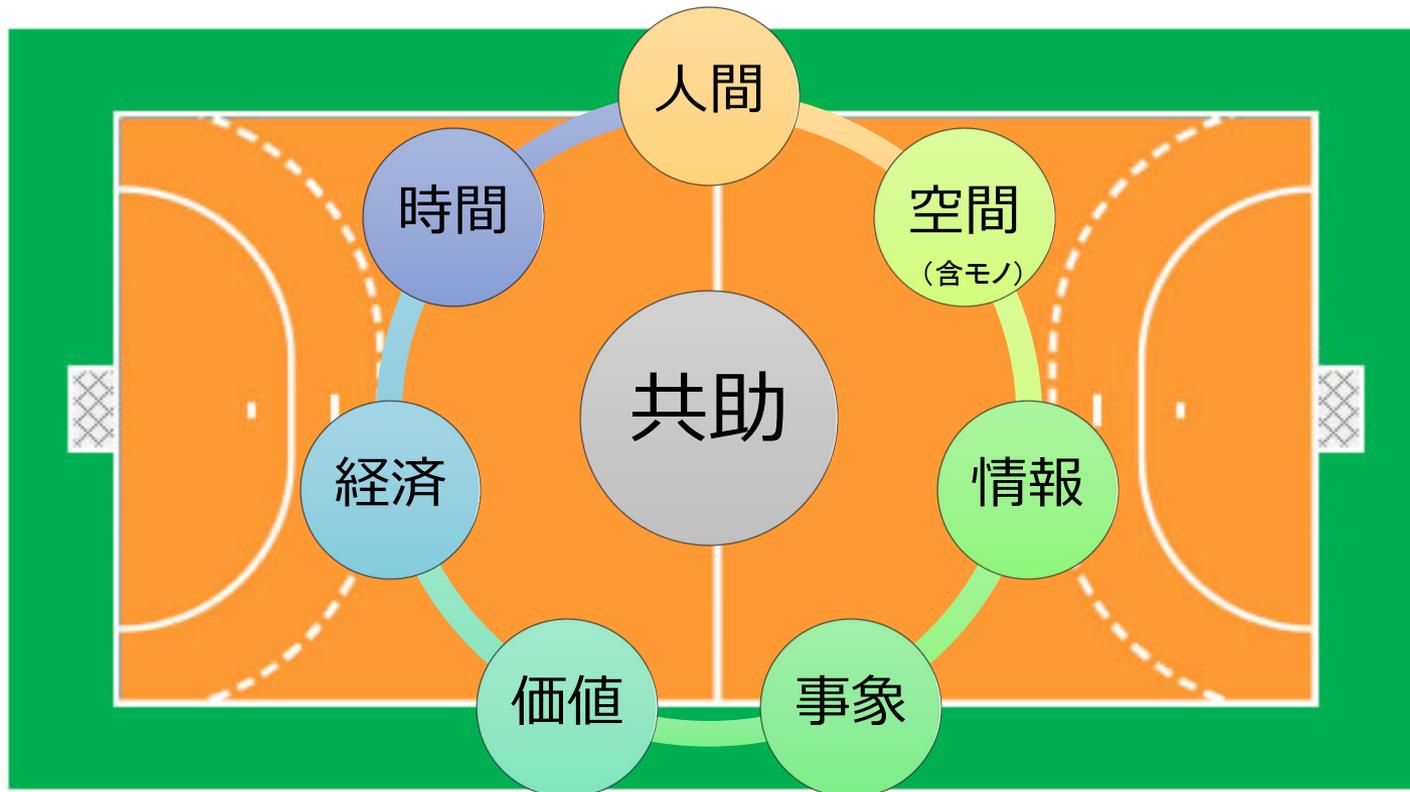
取組み内容 (複数回答) (%)

取組み内容	全体 (%)		
	全体	大企業	中小企業
1 オンライン会議設備の導入	60.8	76.9	56.4
2 テレワークなどリモート設備導入	52.7	67.0	48.8
3 ペーパーレス化の推進	36.2	39.2	35.4
4 SNSを活用した情報発信	16.7	13.7	17.5
5 電子承認(電子印鑑)の導入	15.3	23.0	13.3
6 オンラインセミナーなどの開催	15.2	20.2	13.9
7 キャッシュレス化の推進	13.1	13.0	13.1
8 社内ポータルサイトの導入・拡充	12.8	16.5	11.8
9 デジタル人材の育成・採用	10.4	12.6	9.8
10 ECサイトの活用	8.8	7.8	9.1
11 動画系サイトを活用した発信	6.8	7.1	6.6
12 RPAなどを活用した定型業務の自動化	6.3	13.0	4.5
13 AI活用(チャットボットやビッグデータ分析など)	3.7	5.3	3.2
その他	3.2	2.0	3.5

資料: 企業の取組み、デジタル化への期待 (令和3年版国土交通白書より)

2 KHA運営の基本姿勢

- ・時代が変わろうと、行動・実践の基本は変わらない。選手、指導者、審判、保護者等々、立場は異なれ、与えられた環境の中で振る舞い、各々の目標達成に向けて、その役割を果たす。故に、我々はより高い目標にチャレンジしたい。競技力・指導力・組織力と言っても、強くする(強くなる)には「脱皮」を惜しまず、たゆみなく変化し続ける以外にない。
- ・KHAは次代を担うスポーツ組織として先駆を切り、互いに協力、助け合いながら、より良い組織文化を醸成し、ハンドボールが大好きな次世代を育て、ファンを増やしていきたい。



2018 [H30] 課題と基本方向

2018[H30].3.11sun13:30
 神奈川県ハンドボール協会
 理事会・評議員会資料(引用)

再考  2022～

No	要 旨
1	会務改善・・・会議運営、出席率、代理出席、議事録、資料 Web併用(Zoom等)、整理・効率化
2	組織体制の再編・・・事務局、会計担当、書記、執行部会(通信等) 外部監査の導入等
3	競技会運営の一体化・・・競技部(委員会)+審判部(委員会) 多様性受容、観衆目線等
4	競技力向上委の充実・・・U12～中高:強化・普及育成の一体 刷新・抜本改革、幼小中...
5	若手+ベテランの循環・・・指導者・審判員の育成と好循環 ヒト掌握/バ派遣、カテゴリー間連携等
6	将来構想プロジェクト・・・部活動とクラブスポーツの関係性、ジュニア育成の強化(小中高の連続性)、企業スポーツとの連携、収益事業の検討等 コト&カネ創出...戦略構想化
7	補助事業の有効活用・・・選手強化・女子特別強化・アスリート育成事業 継続
8	広報活動の充実・・・HPリニューアル、公式エンブレムの普及、PR等 広報戦略の強化
9	調査統計の整理・・・競技人口(小中高大社:チーム・登録者)推移等 データ蓄積・活用
10	その他・・・日本協会・関東協会・他県協会動向、2019-2020関連 情報収集・共有

+ Street&Beach、2023マスターズ、将来構想・戦略、After&Withコロナ、他

※その他:神奈川県ハンドボール協会の存在意義、使命・責任、会則・役職(会長・副会長・理事長・副理事長・常任理事・理事・事務局長)に関する認識の確認等

3 KHAライフスポーツ戦略(概念図)

目的 スポーツ文化の享受

- ・生涯にわたる運動・スポーツ実践
- ・家族・仲間、地域のコミュニケーション
- ・ハンドボールを通じた健康・生きがいづくり
- ・部活動改革、地域スポーツの振興

Expert
上級者

戦略③

ハンドボール競技人口の拡大 (ファン・支援者含む)



戦略①

ハンドボールとの早期出会い・早期選択 (幼児期)

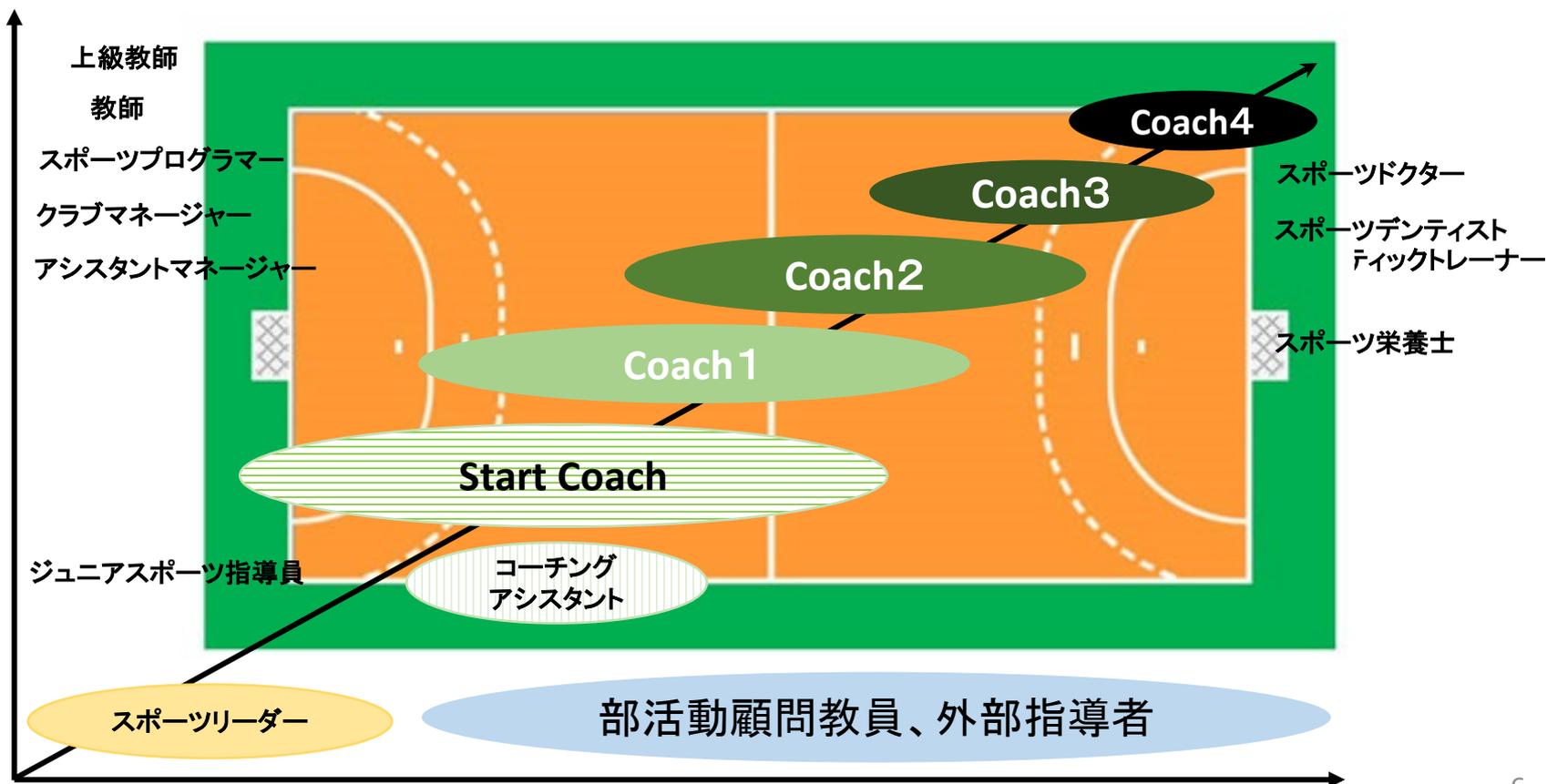
Beginner
初心者

戦略②

幼小中高…活動の連続性 (一貫指導)

4 JSPO (JHA) 公認指導者の養成

- ・スポーツ基本法制定(2011・H23)、スポーツ庁設置(2015・27)、東京オリパラ(2020・R2-)。
- ・「ポスト五輪」=スポーツインフラ整備、前回大会は「施設」、今回は「人(指導者)」である。
- ・2021年からの移行期間を経た「指導者資格義務化」は2024年に完全実施される。単なる資格取得促進策ではなく、我が国スポーツ界の重要な制度改革、日本のスポーツ文化・学校文化の革命に向かう重要な打ち手なのである。



役員・組織体制について



令和4年3月27日

神奈川県ハンドボール協会

組織体制(3部9委員会)

注1: ■総務部 ■強化・普及部 ■競技・審判部 ◎委員長 ○副委員長
 注2: GC:ガバナンス強化・コンプライアンス管掌 Ob:オブザーバー

1 総合企画委員会 (8名)

KHAトータルマネジメント
■戦略構築、進行管理
 ①KHAビジョン
 ②ライフスポーツ戦略
 ③その他企画全般
■将来構想等
 ①JHL、ビーチ、ストリート等
 ②グローバル施策 (イベント等)
 ③ポスト部活、地域スポーツ等

◎佐藤直博
 ○阿部直人
 本田真吾
 本田昭太
 三輪修大
 菅原圭吾
 青木暁
 金子克実
 Ob:塩谷

2 財務委員会 (10名)

財務・経理
■収支・執行管理
 ①予算、決算
 ②補助金
 ③コンプライアンス
■中長期計画
 ①財源確保
 ②収益事業
 ③大規模大会開催支援等

◎本田真吾
 ○青木暁
 ・総合企画
 ・広報・IT
 ・GC
 ・地域振興
 ・競技力向上
 ・競技
 ・審判
 ・LS
 Ob:上林

3 広報・IT委員会

広報活動
■情報発信
 ①ホームページ
 ②SNS
 ③その他
■IT・DX推進等
 ①調査・統計、分析・考察
 ②データ活用、情報公開
 ③イベント効果測定等

◎金子克実
 ○岡部正明
 三輪修大
 近久雄紀
 田代圭
 安井真也
 高橋龍一
 藏内竜司
 Ob:上林

4 GC委員会

原則・規範等の遵守
■ガバナンス(G)コード
 ①規程の整備、公表
 ②国体選手選考指針策定等
■コンプライアンス(C)
 ①相談窓口の設置、研修等
 ②暴力、暴言、ジェンダー平等、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、差別等の根絶

◎小松巖
 ○相原耕輔
 本田真吾
 江成浩二
 関口和之
 青木暁
 中村司
 黒木美和子
 長村昇
 Ob:柴田

5 地域振興委員会

地域団体の活性化
■現状・課題の共有
 ①年間スケジュール
 ②事業・大会、諸会議
 ③組織体制、財源等
■今後の在り方等
 ①学校部活の動向
 ②地域スポーツの展望
 ③指導者の有資格化等

◎石間徹
 ○清水一伸
 中村博
 渋谷宣尊
 長村昇
 小川重和
 白坂篤哉
 三木英彰
 Ob:塩谷

1 競技力向上委員会

競技力向上対策
■全国大会等
 ①各カテゴリー大会
 ②国民体育大会等
■選手選考等
 ①各カテゴリー代表
 ②国体選手選考等
 (ガイドライン、指針の遵守、透明性等)

◎松永康宏
 ○真壁孝明
 栗山雅倫
 高橋博光
 長村昇
 寄修平
 田代圭
 関口和之
 高橋喜春
 熱田翔

村松慶隆
 松久雄広
 小林聖
 渡邊大志
 安井真也
 大房勝則
 五味智香子
 Ob:中村
 近久

1 競技委員会

競技大会の運営
■開催準備・運営全般
 ①会場確保、安全管理
 ②役割分担 (役員・審判等)
 ③コロナ対策等
■審判委員会との連携
 ・ゲームマネジメント (選手・チーム、ベンチ、役員、オフィシャル、審判、観客・観衆等)

◎中村勝彦
 ○斉藤史洋
 田中秀司
 高橋博光
 田中圭
 猪又洋
 小林弘典
 北野冬馬
 藤本利博
 Ob:大石

2 審判委員会

競技の健全遂行
■ミッション
 ①規則の遵守・運用
 ②技術・人間力向上 (講習・研修等)
■ビジョン
 ①発掘・育成・拡大
 ②上級申請、審査認定、登録・管理等

◎本田昭太
 ○斉木翔平
 石間徹
 高橋喜春
 木村康佑
 黒木美和子
 岡部正明
 小松誠
 西里光史

伊東史裕
 白井肇
 高橋龍一
 Ob:大石

2 ライフスポーツ (LS) 委員会

生涯スポーツの推進
■ミッション
 ①Lステージ: 幼小中高
 ②Lスタイル: 遊び・競技
 健康、家族、地域交流
■ビジョン
 ①部活改革、地域化
 ②ビーチ振興
 ③ストリート、マスターズ等

◎本田義昭
 ○遠藤秀之
 中村司
 田中秀司
 金子克実
 高橋喜春
 岩安菜月
 岡部正明
 志賀美里
 樽谷和弥

井上結理
 三輪修大
 濱口将一
 稲葉由香
 澁谷正道
 Ob:塩谷
 上林

1 総務部

	委員会	所掌事項
1	総合企画委員会	戦略構築、団体運営、組織活動・事業等に係る総合的な企画、将来構想、企業や自治体との連携、予算・決算等に関すること
2	財務委員会	財務計画(予算案等)、財源確保、予算の執行管理、決算、補助金、大規模大会(全国大会、ブロック大会、JHL等)開催時の経理業務支援、各委員会との連絡調整等に関すること
3	広報・IT委員会	・広報全般(HP更新/SNS発信/メディア連携/エンブレム普及等)、IT全般(DX推進/ウェビナー/ライブストリーム配信、数値・データ化と分析考察)、予算・決算等に関すること
4	ガバナンス強化・ コンプライアンス 管掌委員会 (略称:GC)	・スポーツ振興を担う団体・組織としての役割を監視・監督する仕組みと適切な管理体制の構築に関すること ・法律、社会倫理・道徳観、ステークホルダーに対する社会的責任等に関すること
5	地域振興委員会	・横浜・川崎・相模原・横須賀・藤沢・大和・厚木の各地域協会が当面する課題に関すること ・地域におけるハンドボールの普及・振興、中高「部活改革」と学校スポーツの地域化(スポーツ庁)の最新情報等に関すること

2 競技・審判部

	委員会	所掌事項
1	競技委員会	<ul style="list-style-type: none">・大会の企画・開催(各カテゴリー)等に関すること・競技運営・役割分担、会場確保・割り当て、競技用品の調達・管理等に関すること・審判委員会との連携強化、新設・ライフスポーツ委員会(マスターズ/ビーチ/ストリート)との連携等に関すること・競技全般、中体連・高体連等の今日的課題、予算・決算等に関すること
2	審判委員会	<ul style="list-style-type: none">・競技規則・公認審判員規程の運用等に関すること・審判技術の向上、講習・研修、人間力向上等に関すること・審判員の発掘・育成・拡大、上級申請、審査・認定、登録・管理等に関すること・予算・決算等に関すること

3 強化・普及部

	委員会	所掌事項
1	競技力向上委員会	<ul style="list-style-type: none">・小学生選抜、JOC選抜、国体4種別の強化に関する事・各カテゴリーの発達段階等を考慮したフィジカル＋メンタル強化、戦略・戦術・技術の習熟、オンライン講習・研修(ウエビナー)、遠隔サポート(コーチング)の研究等に関する事・女子部門の活性化、普及拡大、強化に関する事・全国規模大会に向けた強化(国体4種別を含む)・予算・決算、県スポーツ協会補助金(強化費)等に関する事
2	ライフスポーツ委員会	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ文化の享受、ライフステージや個々のライフスタイルに応じた生涯スポーツの推進に関する事・幼小中高の一貫指導体制に関する事・県民のハンドボールを通じた健康づくり、家族や地域のコミュニケーション等に関する事・部活動改革、学校(教員)の負担軽減に伴う諸課題の共有・ハンドボール競技人口と愛好者・支援者の拡大に関する事(ストリート・ビーチ・マスターズの普及振興を含む)・予算・決算に関する事

※R4-5役員・組織体制は別資料による

総務部

総合企画委員会 (理事長1・副1・常5・理1) [オブザーバー：塩谷会長]		
委員長	佐藤 直博	副理事長
副委員長	阿部 直人	常務理事
	本田 眞吾	理事長
	本田 昭太	常務理事
	三輪 修大	常務理事
	菅原 圭悟	理事
	青木 暁	常務理事
	金子 克実	常務理事

財務委員会 (理事長1・副3・常6) [オブザーバー：上林副会長]		
委員長	本田 眞吾	理事長
副委員長	青木 暁	常務理事
総合企画委員長	佐藤 直博	副理事長
広報・IT委員長	金子 克実	常務理事
GC委員長	小松 巖	副理事長
地域振興委員長	石間 徹	常務理事
競技委員長	中村 勝彦	常務理事
審判委員長	本田 昭太	常務理事
競技力向上委員長	松永 康宏	常務理事
LS委員長	本田 義昭	副理事長

広報・IT委員会 (常3・理2・専3) [オブザーバー：上林副会長]		
委員長	金子 克実	常務理事
副委員長	岡部 正明	理事
	三輪 修大	常務理事
	近久 雄紀	理事
	田代 圭	理事
	安井 真也	専門委員
	高橋 龍一	専門委員
HP統括管理	藏内 竜司	専門委員

ガバナンス強化・コンプライアンス管掌委員会（GC委員会） (理事長1・副3・常3・理2) [オブザーバー：柴田副会長]		
委員長	小松 巖	副理事長
副委員長	相原 耕輔	副理事長
	本田 眞吾	理事長
	江成 浩二	副理事長
	関口 和之	常務理事
	青木 暁	常務理事
	中村 司	常務理事
	黒木 美和子	理事
	長村 昇	理事

地域振興委員会 [オブザーバー：塩谷会長]		
委員長	石間 徹	常務理事
副委員長	清水 一伸	理事
横浜	中村 博	理事
横浜	渋谷 宣尊	理事
川崎	長村 昇	理事
大和	小川 重和	理事
横須賀	白坂 篤哉	理事
厚木	三木 英彰	理事

競技・審判部

競技委員会 (常2・理3・専4) [オブザーバー：大石副会長]		
委員長	中村 勝彦	常務理事
副委員長	斉藤 史洋	理事
	田中 秀司	常務理事
	高橋 博光	理事
	田代 圭	理事
	猪又 洋	専門委員
	小林 弘典	専門委員
	北野 冬馬	専門委員
	藤本 利博	専門委員

審判委員会 (常4・理4・専4) [オブザーバー：大石副会長]		
委員長	本田 昭太	常務理事
副委員長	斉木 翔平	常務理事
中体連審判長	石間 徹	常務理事
	高橋 喜春	常務理事
高体連審判長	木村 康佑	理事
女性審判員発掘・育成	黒木 美和子	理事
	岡部 正明	理事
	小松 誠	理事
	西里 光史	専門委員
	伊東 史裕	専門委員
	白井 肇	専門委員
	高橋 龍一	専門委員

強化・普及部

競技力向上委員会 (常4・理8・専5) [オブザーバー：中村副会長、近久副会長]						
委員長	松永 康宏	常務理事		副委員長	真壁 孝明	理事
	栗山 雅倫	常務理事		小学生選抜	関口 和之	常務理事
	高橋 博光	理事		小学生選抜	高橋 喜春	常務理事
	長村 昇	理事		JOC	熱田 翔	理事
	寄 修平	理事		補助金担当	村松 慶隆	理事
	田代 圭	理事		補助金担当	松久 雄広	理事
	小林 聖	専門委員		JOC	大房 勝則	専門委員
	渡邊 大志	専門委員		JOC	五味 智香子	専門委員
	安井 真也	専門委員				

ライフスポーツ委員会（LS委員会） (副2・常5・理3・専5) [オブザーバー：塩谷会長、上林副会長]		
委員長	本田 義昭	副理事長
副委員長	遠藤 秀之	副理事長
	中村 司	常務理事
	田中 秀司	常務理事
	金子 克実	常務理事
	高橋 喜春	常務理事
	岩安 菜月	理事
	岡部 正明	理事
	志賀 美里	専門委員
	樽谷 和弥	専門委員
学校体育	井上 結理	専門委員
ビーチ	三輪 修大	常務理事
ストリート	濱口 将一	理事
ストリート	稲葉 由香	専門委員
マスターズ	渋谷 正道	専門委員

事務局

事務局長	青木 暁	常務理事
事務局次長	金子 克実	常務理事
	高橋 喜春	常務理事
	大島 雄太	理事
	近久 雄紀	理事

令和4・5年度神奈川県ハンドボール協会 役員一覧

2022/03/27評議員会

役職	氏名 委員会等（総合企画/財務/広報・IT/GC/地域振興/競技/審判/競技力向上/LS/学連/事務局）									
会長(1)	塩谷 和雄	obs:総合企画/ 地域振興/LS								
副会長(5)	中村 ふじ	obs:競技力向上	上林 正明	obs:財務/ 広報・IT/LS	大石 進	obs:競技/審判	柴田 正美	obs:GC	近久 紀人	obs:競技力向上
顧問(2)	斎藤 達也		佐分 正典							
参与(3)	新木 康稔	KHA	小見 幸男	KHA	飯田 章二	KHA				
監事(2)	細井 義彦	前理事長	嶋貫 綾	税理士						
理事長(1)	本田 眞吾	総合企画 財務/GC								
副理事長(6)	佐藤 直博	総合企画	江成 浩二	GC/高体連	相原 耕輔	GC/中体連	小松 巖	GC	本田 義昭	LS
常務理事(14)	阿部 直人	総合企画	本田 昭太	総合企画/財務/ 審判	三輪 修大	総合企画/ 広報・IT/LS	石間 徹	地域振興/審判	中村 勝彦	競技
	斉木 翔平	審判	松永 康宏	競技力向上	栗山 雅倫	競技力向上	関口 和之	GC/競技力向上	高橋 喜春	審判/ 競技力向上/LS
	青木 暁	総合企画/財務/ GC/事務局	金子 克実	総合企画/広報・ IT/LS/事務局						
理事(26)	中村 博	地域振興	渋谷 宣尊	地域振興	長村 昇	GC/地域振興/ 競技力向上	清水 一伸	地域振興	小川 重和	地域振興
	三木 英彰	地域振興	菅原 圭悟	総合企画	岡部 正明	広報・IT/ 審判/LS	近久 雄紀	広報・IT/事務局	田代 圭	広報・IT/競技/ 競技力向上
	斉藤 史洋	競技	高橋 博光	競技/競技力向上	木村 康佑	審判	小松 誠	審判	真壁 孝明	競技力向上
	寄 修平	競技力向上	熱田 翔	競技力向上	村松 慶隆	競技力向上	岩安 菜月	LS	濱口 将一	LS
	岡本 大	学連	大島 雄太	事務局						
専門委員(19)	高橋 龍一	広報・IT/審判	藏内 竜司	広報・IT	猪又 洋	競技	小林 弘典	競技	北野 冬馬	競技
	西里 光史	審判	伊東 史裕	審判	白井 肇	審判	小林 聖	競技力向上	渡邊 大志	競技力向上
	大房 勝則	競技力向上	五味 智香子	競技力向上	志賀 美里	LS	樽谷 和弥	LS	井上 結理	LS
	澁谷 正道	LS								
									藤本 利博	競技
									安井 真也	競技力向上
									稲葉 由香	LS



2022年6月30日

神奈川県ハンドボール協会
各位

令和4年度評議員会の結果について（ご報告）

神奈川県ハンドボール協会
会長 塩谷 和雄

冠省

令和4年6月19日に開催した神奈川県ハンドボール協会評議員会は、皆さまのご協力のもと、全ての審議事項についてご承認いただきましたことをご報告いたします。

草々

記

評議員数（役員兼務含む） 125名
出席者（委任状提出者含む） 99名

[審議事項の結果]

【第1号議案】 [2021年度神奈川県ハンドボール協会事業報告](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

【第2号議案】 [2021年度神奈川県ハンドボール協会決算・積立金の状況](#)ならびに[監査報告](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

【第3号議案】 [2022年度神奈川県ハンドボール協会事業計画（案）](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

【第4号議案】 [2022年度神奈川県ハンドボール協会予算案（案）](#)

上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

以上

【第1号議案】

事業報告書（2021年度）

神奈川県ハンドボール協会
理事長 本田 眞吾

1. 要旨

全国ではジャパンオーパントーナメント（8月・栃木県）、国民体育大会（9月・三重県）が、関東ブロックでは高校選抜大会（2月・東京都）が中止となるなど、2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大に悩まされた1年間となったが、オンライン等を活用した会議・打合せ・情報交換・研修等を重ね、ウィズコロナの生活様式と社会的立場を守りながら事業活動を継続した。

その成果として、県内大会のほぼ全てを予定通り実施したこと、関東ブロック大会（10月・中学選抜JOC）を安全・安心のもとに開催したこと、成年男女、少年男女の4種別とJOC選抜男女で全国大会への代表権を獲得したことなどが上げられる。

評議員会においては、2021年6月30日に、事業報告・収支決算、事業計画・予算案が書面で決議され、2022年3月26日にKHAビジョン2022と組織体制案、会則改正案、役員改選案のすべてが賛成承認された。

2. 登録状況

- (1) チーム登録料は対前年度比 96.4%（112,000円減）となった。
- (2) 個人登録料は対前年度比 138.0%（633,900円増¹）となった。
- (3) 審判登録者数を示す還付金収入は対前年比 100.0%（増減なし）となった。

3. 大会等開催状況

- (1) 中止となった大会
 - ① 社会人大会 社会人リーグ
 - ② 県選手権 社会人の部（不開催）
高校生の部（中断後、再開を試みたが、会場を確保できず中止）
- (2) 開催した大会等
 - ① 社会人大会 関東クラブ・ジャパンオープン県予選、国体県予選
日本選手権県大会
 - ② 中学生大会 県新人大会（春全中予選）
 - ③ 小学生大会 関東少年少女県予選
 - ④ 高校生大会 選抜2次予選
 - ⑤ 県選手権大会 中学生の部（中断後、3月に再開）
高校生の部（一部を実施²）

¹ 2020年度において、多くの中学3年生、高校3年生が登録を行わなかったことにより、2021年度は大幅増になったが、2019年度と比較すると97.7%（54,000円）の減収である。

² 影響により、試合をする前に中止となったチームと勝ち上がり途中で中止となったチームには、2022年度の同大会参加料の全部または一部を免除（減額）することとなった。

- ⑥ 小学生・JOC選抜 選手選考を行い大会に参加
- ⑦ 審判講習会 資格取得者の書類審査（30名、22名増）

4. 協会運営

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面での打合せや出張等の制限があり、予算を余した。その他、事務管理経費の節約に努めて堅実な運営を行った。

5. 委員会運営

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面での打合せ等が制限される中、web会議システムを積極的に活用した。

必要な使用料、機器備品類、消耗品類への支出を行って、事業活動の継続に必要な委員会運営を行った。

最も大きな支出であるホームページのリニューアルについては、予算内でより良いものを目指し、仕様決定に多くの時間を費やして、期末目前にようやく完了した（総務委員会）。

6. 強化事業

(1) 選手強化事業

スポーツ協会補助金を活用して強化を行い、すべての種別（成年男女、少年男女）が関東ブロック大会で代表権を獲得する目覚ましい成果を得たが、残念ながら本国体（三重国体）は中止となった。

事業総額	1,090,386 円
スポーツ協会補助金	971,000 円
本会自主財源	119,386 円

(2) ジュニア強化事業

次世代の強化として、中学生選抜チームは、JOC大会（関東・全国）に向けて強化を行った。

小学生選抜チームも強化を行ってきたが、残念ながら小学生選抜大会は中止となった。

事業総額	2,527,497 円
スポーツ協会補助金	1,000,000 円
本会自主財源	1,010,552 円
参加者負担	516,945 円

(3) 一貫指導体制モデル事業

幼児期からのハンドボールとしてストリートハンドボールの研究・普及を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業を行うことができなかった。

7. 派遣事業

関東社会人クラブ・ジャパンオープン大会（6月）、JOC関東大会（10月）、日本選手権関東大会（11月）、小学生選抜大会（1月）に審判員を派遣した。

8. 特別事業（ブロック大会開催）

JOC関東ブロック大会

新型コロナウイルス感染拡大により、衛生備品等の対策費用増が懸念されたが、コストミニマムの追及により、対予算 78.4%（235,118 円）で実施することができた。

9. 積立金

例年分の60万円に加えて、国体チーム（成年男女・少年男女）、中学生選抜チーム（JOC男女）、小学生選抜チーム（男女）の8チームのユニフォーム更新費用として20万円の積立を行った。

10. 予備費の使用

- (1) 本県出身の選手が2020東京五輪代表選手に選出された。日の丸に応援メッセージを添えて寄贈した。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大により、ブロック大会および全国大会の開催が困難な状況にあった2県（群馬県：関東社会人クラブ・ジャパンオープン大会、徳島県：JOC全国大会）に対して、運営協力金、協賛金の名目で寄贈した。

以上

2021年4月1日から

2022年3月31日まで

神奈川県ハンドボール協会

【収入の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	当年度決算	差額	摘要
登録金収入	4,830,000	5,380,800	△ 550,800	チーム登録料 3,029,000 (対前年度比 96.4% 112,000減) 選手登録料 2,302,400 (対前年度比138.0% 633,900増) 審判登録還付金 23,100 (対前年度比100.0% 増減なし) 役員登録還付金 26,300
参加料収入	1,550,000	1,874,945	△ 324,945	関東少年少女県予選 55,000 国民体育大会県予選 (成年男子) 20,000 関東社会人・クラブ県予選 30,000 日本選手権神奈川県大会 20,000 中学新人戦 (春全中予選) 120,000 県選手権大会 (中学の部) 337,000 県選手権大会 (高校の部) 744,000 小学生選抜チーム参加者自己負担金 300,000 JOC選抜チーム参加者自己負担金 216,945 新規審判資格取得 30,000 その他 2,000
補助金収入	6,150,000	3,944,900	2,205,100	神奈川県スポーツ協会補助金
選手強化事業補助金	1,850,000	971,000	879,000	決定額) 選手650,000、女子特別1,200,000 確定額) 971,000 差引額) 879,000 (県スポーツ協会へ返納)
ジュニア強化補助金	1,000,000	1,000,000	0	同上 次世代(小中高)に対する補助
アスリート育成事業補助金	0	0	0	
一貫指導体制モデル事業費補助金	0	0	0	
派遣費補助金	2,900,000	1,789,900	1,110,100	関東ブロック大会選手・監督派遣旅費 支給額) 2,103,480 確定額) 1,672,900 差引額) 430,580 (県スポーツ協会へ返納) 確定後修正額) 117,000 (増額分未収入)
健康管理事業補助金	400,000	184,000	216,000	
雑収入	2,579	253,164	△ 250,585	預貯金利息、過年度運営費精算ほか
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金収入	5,222,421	5,222,421	0	
前受金収入	0	0	0	
前期末未収入金回収	0	0	0	
前期末前受金	0	0	0	
期末未収入金	0	△ 149,913	149,913	3月分登録料、派遣費補助金確定後修正額ほか
収入合計	17,755,000	16,526,317	1,228,683	

【支出の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	当年度決算	差額	摘要
分担金支出	591,500	571,500	20,000	
日本協会分担金	116,500	116,500	0	日本ハンドボール協会分担金
関東協会分担金	310,000	310,000	0	関東ハンドボール協会分担金
県スポーツ協会分担金	165,000	145,000	20,000	神奈川県体育協会分担金および賛助会費
役員登録費 (日本協会)	170,000	202,320	△ 32,320	日本ハンドボール協会役員登録費
協会運営費	1,770,000	1,025,710	744,290	
会議費	120,000	105,600	14,400	Zoom Meeting Pro 5ID年間使用料
印刷費	450,000	231,880	218,120	競技会案内ほか印刷製本
ホームページ管理費	300,000	210,100	89,900	サーバーレンタル料、内容変更および追加作業
事務局運営費	300,000	145,105	154,895	通信料、振込手数料、ネットバンキング利用料など
表彰費	180,000	136,422	43,578	年間表彰受賞者メダル
消耗品費	20,000	26,713	△ 6,713	
役員等出張旅費	400,000	169,890	230,110	
大会運営費	1,600,000	929,125	670,875	
社会人大会運営費	200,000	91,860	108,140	関東社会人・クラブ、国民体育大会県予選 日本選手権神奈川県大会 開催費用
中学新人戦運営費	200,000	269,180	△ 69,180	県中学校新人戦 (春全中県予選) 開催費
関東少年少女県予選運営費	200,000	124,085	75,915	関東少年少女大会県予選開催費
県選手権運営費	1,000,000	444,000	556,000	県選手権大会開催費 (高校選抜2次予選含む高校の部および中学の部)
特別運営費	1,900,000	1,475,822	424,178	
競技力向上委員会運営費	250,000	56,910	193,090	スポーツセンター利用料ほか
審判委員会運営費	250,000	149,450	100,550	審判用インカム、映像分析ソフト使用料ほか
競技委員会運営費	250,000	234,800	15,200	デジタルタイマー、大音量ホーン
総務委員会運営費	1,000,000	990,000	10,000	ホームページリニューアル制作費
高体連運営費	50,000	0	50,000	
中体連運営費	50,000	44,662	5,338	
小学校運営費	50,000	0	50,000	
派遣費	500,000	379,339	120,661	
審判員派遣費	500,000	379,339	120,661	関東ブロック大会派遣審判員旅費交通費
JOCブロック大会派遣費	0	0	0	
JOC大会派遣費	0	0	0	
小学生選抜派遣費	0	0	0	
NTS派遣費	0	0	0	
事業費	8,750,000	6,392,135	2,357,865	
強化事業費	4,500,000	3,617,883	882,117	国体 (成年、少年)、JOC、小学生選抜チームに対する強化事業
派遣費	2,900,000	1,907,660	992,340	国体 (成年、少年) チームの宿泊費・交通費
健康診断受診費	900,000	554,280	345,720	国体 (成年、少年) 選手の健康診断費
負担金等	200,000	41,600	158,400	国体関東ブロック大会参加料
その他	250,000	270,712	△ 20,712	国体 (成年、少年) 選手の被服費
特別事業費	300,000	235,118	64,882	10月JOC関東ブロック大会開催費
積立金	800,000	800,000	0	積立金口座へ
予備費	295,500	106,800	188,700	2020東京五輪代表選手へ日の丸 (寄せ書き) 寄贈ほか
期末未払金	0	△ 927,422	927,422	選手強化補助金精算額ほか
前期末未払金	1,078,000	1,078,000	0	選手強化・ジュニア補助金精算額 (前年度)
前払金	0	0	0	
前期末前払金	0	0	0	
支出合計	17,755,000	12,268,447	5,486,553	
収入支出差引残高	0	4,257,870	△ 4,257,870	

2021年度 神奈川県ハンドボール協会 [積立金の状況]

2021年4月1日から2022年3月31日まで

名 称 神奈川県ハンドボール協会

銀 行 名 ゆうちょ銀行 通常貯金

積立金の状況 2,982,304 円 (通常貯金)

(積立金内訳)

項 目	①過年度累計額	②当期積立額	③当期取崩額	①+②-③ 積立金合計
積 立 金	2,182,192	600,000	0	2,782,192
選抜チームユニフォーム更新積立金	0	200,000	0	200,000
利 息	92	20	0	112
合 計	2,182,284	800,020	0	2,982,304

1)2017年度以前の利息の累計は不明

2021年度 神奈川県ハンドボール協会 財産目録

2022年3月31日現在

銀行名	預金種別	用途	金額
ゆうちょ銀行	通常貯金	経常費	2,337,029
	通常貯金	積立金	2,982,304
	郵便振替口座	参加費納入口	0
横浜銀行	普通預金	補助金受入口	407,171
	普通預金	国体成年男子	57,910
	普通預金	国体成年女子	78,000
	普通預金	国体少年男子	324,833
	普通預金	国体少年女子	689,791
	普通預金	ジュニア小学生	1
	普通預金	ジュニアJOC	353
	普通預金	ジュニア高校	220,001
	普通預金	競技力向上委員会運営	142,781
現金			0
		小計	7,240,174
	期末未収入金		149,913
	期末未払金		△ 927,422
		合計	6,462,665

2022年5月19日

監査報告書

神奈川県ハンドボール協会
会長 塩谷 和雄 殿

監事 嶋貫 統

監事 細井 義彦

私たちは、神奈川県ハンドボール協会会則第12条に基づき、神奈川県ハンドボール協会の2021年度の会計書類、即ち2021年4月1日から2022年3月31日までの収支決算書ならびに積立金の状況について監査を行った。

この監査に当たって、私たちは帳簿突合、証憑突合、計算調、質問その他必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、私たちは上記の会計書類が、神奈川県ハンドボール協会会則に従って適正に作成されているものと認める。

以上

【第3号議案】

事業計画案（2022年度）

神奈川県ハンドボール協会
理事長 本田 眞吾

1. 要旨

2022年3月27日評議員会で承認されたKHAビジョン2022に謳われる「KHA運営の基本姿勢」に則り、新たに編成された3部9委員会が掲げる活動指針に沿って事業を行う。コロナにより加速されたデジタル化、部活動の地域移行化、ポストコロナにおける競技会のあり方、ポスト五輪における選手発掘・育成の方法、いずれの場面においても時代の変化から決して遅れることなく取り組みを行い、社会的信用のある組織として成長する。

2. 登録

(1) チーム登録

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の社会情勢にもかかわらず、収入金額3.6%減にとどまったが、未だ先行き不透明であることから、昨年度登録実績の90%を予算計上する。

(2) 個人登録

昨年度は中学生・高校生の回復により、対前年度比138%の実績となったが、未だ先行き不透明であることから、昨年度登録実績の90%を予算計上する。

(3) 審判登録

各種大会が開催され、再び多くの試合が行われるという期待を込めて100名分を計上する。

3. 大会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大状況を念頭に置き、社会状況に合わせた防止策を講じながら次の大会等を開催する。特に公認指導者養成について力点を置き、講習会を夏と冬に開催する。

- | | |
|----------------|---|
| (1) 県選手権大会 | 社会人・高校生・中学生 |
| (2) 社会人大会 | 国体県予選、関東クラブ・ジャパンオープン県予選
日本選手権県予選ほか |
| (3) 中学生大会 | 新人戦（春全中県予選） |
| (4) 小学生大会 | 関東大会県予選（1次・2次）
ドリームカップ、ゆめカップ（さよなら・新人戦） |
| (5) 中学生選抜 | 選手選考を行いブロック大会・全国大会に参加 |
| (6) 小学生選抜 | 選手選考を行いブロック大会に参加 |
| (7) 審判講習会 | 資格取得講習会ほか |
| (8) 公認指導者資格講習会 | スタートコーチ養成講習会（8月・12月） |
| (9) 全日本ビーチ大会 | 関連イベントとしてキッズハンドボール教室の開催
10/15(土), 16(日)三浦市 |

4. 協会運営

WEB会議システムをさらに充実させて業務DX推進を継続し、合理的かつ経済的な運営を行う（印刷費と事務局費を削減）。

リニューアルしたホームページの管理費は広報・IT委員会運営費（新たに科目設置）に移行して分掌を明確化した。

また、内部統制強化として、決算監査および会計相談の税理士報酬を計上する。

5. 委員会運営

2022年3月27日評議員会で承認された「組織体制（3部9委員会）」により、各委員会の所掌事項が明確化された。各委員会の活動指針を軸足に業務立案、予算管理を適切に行っていく。

(1) 総合企画委員会

神奈川県ハンドボール協会（KHA）のブランディング戦略
財政基盤・組織力・社会的信用力の強化

(2) 広報・IT委員会

新ホームページの運用管理とSNS連携
協会業務DX化のための研究

(3) ガバナンス強化・コンプライアンス管掌委員会（GC委員会）

コンプライアンス宣言の作成

通報・相談窓口の設置

選手等選考規程策定の支援

ガバナンスコード策定のための研究と諸規定整備

(4) 地域振興委員会

7地区協会の情報交換、課題抽出、問題解決

特に喫緊の課題、部活動地域移行化などの最新情報キャッチと共有

(5) 競技委員会

地区協会との連携などにより、体育館の確保状況を拡充

全国大会と同程度の大会を実施するために必要な資機材の調達・更新

(6) 審判委員会

一貫継続指導を実現するためのゲームアナライズ

上記実現のための講師招聘、映像分析ソフトへの投資

数の確保（資格取得講習）と質の向上（上級審査）

女性審判員の発掘と育成

新ルール運用の周知

(7) 競技力向上委員会

パフォーマンスプログラムに沿った選手の発掘と育成

選考基準に則った選手選考の実施

映像分析ソフトへの投資

(8) ライフスポーツ委員会（LS委員会）

スタートコーチ講習会の開催、公認コーチ3取得のための支援

全日本ビーチ大会開催時期に合わせたイベント企画（キッズ体験会）

部活動地域移行化などの最新情報に関する研究と情報展開

ストリートハンドボールに関する研究と体験会開催

6. 審判員派遣事業（計算書類の大科目名称を「派遣費」から変更する）

関東協会より求められている国体・JOC・日本選手権・小学生選抜・高校選抜の関東ブロック大会への審判員派遣を実施する。

また、上級審査（A級・B級）受検者を審査となる大会へ派遣する。

7. 競技力向上対策事業費（計算書類の大科目名称を「事業費」から変更する）

前年度の成績向上（4種別で関東ブロック大会にて代表権獲得）により、県スポーツ協会補助金額が増となった分増強する（10万円増）。

より高い投資効果を実現するために次のことを実施する。

- (1) 県スポーツ協会補助金の対象経費とならない登録コーチ3名／種別の交通費・宿泊費について、関東ブロック大会分を予算化する（中科目：派遣費）。
- (2) 上記費用捻出のため、被服費（ポロシャツ等の支給）は停止する（中科目：その他）。
- (3) 一貫指導体制モデル事業はライフスポーツ委員会に移行する（中科目：強化事業費）。

8. 特別事業（ブロック大会開催）

6月4日（土）・5日（日）・6日（月）に関東高校大会を県立スポーツセンター他にて開催する。新型コロナウイルス感染拡大状況を念頭に置き、予防対策に係る経費を含めて計上する（50万円）。

以上

【第4号議案】

2022年度 神奈川県ハンドボール協会 収支予算書（案）

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

神奈川県ハンドボール協会

【収入の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	前年度予算	差額	摘要
登録金収入	4,830,000	4,830,000	0	チーム登録料 2,700,000 選手登録料 2,080,000 審判登録還付金 30,000 役員登録還付金 20,000
参加料収入	1,850,000	1,550,000	300,000	社会人大会 90,000 県選手権大会〔高校〕 400,000 (前年度中止の減免含む) 県選手権大会〔中学〕 300,000 中学新人戦(春中予選) 120,000 小学生大会 400,000 (関東, ドリーム, ゆめ) J R 選抜参加者負担金 500,000 新規審判資格取得ほか 40,000
補助金収入	6,250,000	6,150,000	100,000	神奈川県スポーツ協会補助金
選手強化事業補助金	1,950,000	1,850,000	100,000	同上 (選手750,000、女子特別1,200,000)
ジュニア強化補助金	1,000,000	1,000,000	0	同上 次世代(小中高)に対する補助
アスリート育成事業補助金	0	0	0	本年度該当なし
一貫指導体制モデル事業費補助金	0	0	0	同上
派遣費補助金	2,900,000	2,900,000	0	国体チーム旅費に対する直接補助
健康管理事業補助金	400,000	400,000	0	国体選手健康診断費に対する一部補助
雑収入	217	2,579	△ 2,362	受取利子ほか
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金収入	4,257,870	5,222,421	△ 964,551	
前受金収入	0	0	0	
前期末未収入金回収	149,913	0	149,913	
前期末前受金	0	0	0	
期末未収入金	0	0	0	
収入合計	17,338,000	17,755,000	△ 417,000	

【支出の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	前年度予算	差額	摘要
分担金支出	571,500	591,500	△ 20,000	
日本協会分担金	116,500	116,500	0	日本ハンドボール協会
関東協会分担金	310,000	310,000	0	関東ハンドボール協会分担金
県スポーツ協会分担金	145,000	165,000	△ 20,000	神奈川県体育協会分担金および賛助会費(実績勘案)
役員登録費(日本協会)	200,000	170,000	30,000	(実績勘案)
協会運営費	1,530,000	1,770,000	△ 240,000	
会議費	180,000	120,000	60,000	Web会議システム利用料ほか(3ID追加)
印刷費	300,000	450,000	△ 150,000	競技会案内ほか印刷製本(実績勘案)
ホームページ管理費	0	300,000	△ 300,000	広報・IT委員会運営費へ移行
事務局運営費	200,000	300,000	△ 100,000	事務用品、通信運搬費、手数料等(実績勘案)
表彰費	150,000	180,000	△ 30,000	年間表彰受賞者メダル(実績勘案)
消耗品費	0	20,000	△ 20,000	
役員等出張旅費	400,000	400,000	0	
報酬委託費	300,000	0	300,000	税理士報酬および監査報酬
大会運営費	2,000,000	1,600,000	400,000	
社会人大会運営費	200,000	200,000	0	関東クラブ・J0・国体県予選・日本選手権ほか開催費
中学新人戦運営費	250,000	200,000	50,000	県中学校新人大会開催費
関東少年少女県予選運営費	150,000	200,000	△ 50,000	関東少年少女県予選開催費
県選手権運営費	1,000,000	1,000,000	0	一般・高校・中学の部開催費
小学生大会運営費	400,000	0	400,000	【新設】ドリームカップ・ゆめカップ開催費
委員会運営費	1,650,000	1,400,000	250,000	特別運営費から名称変更
総合企画委員会運営費	50,000	0	50,000	【新設】
広報・IT委員会運営費	300,000	0	300,000	【新設】メンテナンス月額費用、素材撮影費用
G C委員会運営費	50,000	0	50,000	【新設】
地域振興委員会運営費	50,000	0	50,000	【新設】
競技委員会運営費	250,000	250,000	0	競技用機器更新費用、消耗品など
審判委員会運営費	300,000	250,000	50,000	映像分析ソフト使用料、機器更新、講習会開催費用など
競技力向上委員会運営費	250,000	250,000	0	映像分析ソフト使用料、強化練習会開催費用など
L S委員会運営費	400,000	0	400,000	【新設】スタートコーチ講習会開催費、講習会、体験会、キッズ教室(全日本ビーチ大会と同日)開催費ほか
総務委員会運営費	0	1,000,000	△ 1,000,000	総務委員会は廃止
高体連運営費	0	50,000	△ 50,000	
中体連運営費	0	50,000	△ 50,000	
小学校運営費	0	50,000	△ 50,000	
審判員派遣事業	500,000	500,000	0	派遣費から名称変更
審判員派遣費	500,000	500,000	0	ブロック大会への審判派遣費 JOC・日本選手権・小学生選抜・高校選抜 関東社会人クラブ(B級審査) 関東学生リーグ(A級審査)
競技力向上対策事業費	8,850,000	8,750,000	100,000	事業費から名称変更
強化事業費	4,350,000	4,500,000	△ 150,000	選手強化事業 補助金195万+自主財源20万円 ジュニア選手強化事業 補助金100万+自主財源120万円 一貫指導体制モデル事業はL S委員会に移行
派遣費	3,400,000	2,900,000	500,000	国体チーム旅費(派遣旅費補助金額を超える予算額50万円は関東ブロック大会におけるコーチ3名/種別の旅費)
健康診断受診費	900,000	900,000	0	国体選手健康診断費
負担金等	200,000	200,000	0	国体参加料ほか関連事務経費
その他	0	250,000	△ 250,000	被服費負担制度は停止
特別事業費	500,000	300,000	200,000	関東高校大会開催費(感染症対策費込み)
積立金	0	800,000	△ 800,000	
予備費	109,078	295,500	△ 186,422	
期末未払金	0	0	0	
前期末未払金	927,422	1,078,000	△ 150,578	前期分選手強化・ジュニア強化補助金精算
前払金	0	0	0	
前期末前払金	0	0	0	
支出合計	16,838,000	17,255,000	△ 417,000	
収入支出差引残高	500,000	500,000	0	